

平成30年度

# 授業改善推進プラン

## 成果と課題



文京区立音羽中学校

めざす生徒像	<p>学びを自分の言語生活に活かし、未知の状況にも対応できる思考力、判断力、表現力を身に付けた生徒。自分の考えをもち、他の人の考えからも学ぼうとする生徒。課題に粘り強く取り組み、力を伸ばしていこうとする生徒。</p>
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇漢字学習の課題提出、小テストを通して中学国語の漢字に親しみ、自宅学習の習慣をつくることが出来た。また、新出漢字は題材ごとに解説し、定着を図った。</li> <li>◇昨年度と比べ協同学習を取り入れることで、生徒どうしが互いに教え合う環境を作るとともに、仲間と問いを解決していく意識を高めることで課題に取り組もうとする意欲を高めた。</li> <li>◆漢字学習の意欲は1学期と比べると3学期は伸びた。しかし、まだ定期考査の結果を見ると定着が不十分な点がある。</li> <li>◆グループワークを取り入れたことで学習意欲は高まったが、個々の学力の定着化、深化が不十分であるので、学習計画の見通しを立て、個人で考える時間を設定する。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇年間を通した課題設定（自作の漢字学習プリント・四字熟語帳・漢字小テスト・百人一首の暗唱）により、粘り強く学習に取り組み、やりきることで、達成感を味わうとともに、基礎の定着を図ることができた。</li> <li>◇授業のはじめにねらいを示し、終わりには、ふり返りを記入させることで、学習内容の深化を図った。ふり返りの内容も後半に入り、濃くなってきている。学習意欲の向上につながっている。</li> <li>◆語彙力の個人差が大きい。語彙を増やし、さらに日常生活の場面で、いかせるような学習を工夫することが必要である。</li> <li>◆学習内容に即した学習形態の工夫をさらにすすめることが必要である。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇新しい単元に入る際に、既習事項を繰り返し復習し、学習したことを応用する場面をもうけることによって学習内容を定着させ、さらに深めることができた。</li> <li>◇学習目標を明示したことで一時間の中で達成すべき目標が明らかになり、学習の見通しをもたせることができた。</li> <li>◆単元の中で完結せず、次の学習へとつながる評価の工夫が望まれる。特に自己評価や相互評価などを有効活用したい。</li> <li>◆授業の中で課題を達成することが難しい生徒への個別支援の時間を確保することが課題である。</li> </ul>

めざす生徒像	<p>基本的な知識を確実に身につけ、その知識を活用し、様々な資料を読み取り、社会的事象を多面的・多角的に考察することができる生徒。</p>
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ノートのとり方や発言、提出物などの授業規律が身についた生徒が多く、社会科の学習に対する意欲・関心の高まりが見られるようになった。</li> <li>◇アクティブボードを活用して資料の提示を工夫し、単元内容について具体的なイメージを持たせ、理解させることに努めた。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識や技能の定着の個人差が大きい。課題を最後までやり遂げられない生徒が固定化してきている。</li> <li>◆生徒同士が学び合うグループ学習や、資料活用、思考判断について深める学習を増やすことに努める。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇授業プリントやノート、提出物、発言などを含めた授業規律を基に学習に対する意欲関心の高まりが見られるようになった。</li> <li>◇DVD教材の視聴やICTを活用した教材提示の工夫などを通し、単元内容をより具体的に体感させて理解させることに務めた。</li> <li>◆生徒同士が学び合うグループ学習や資料活用、思考判断について深める学習を増やすことに努める。</li> <li>◆学びに向かう個人差が広がっているため、個々の生徒へ学習支援を充実させるなど、多様な対応が必要である。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習内容をファイリングすることにより、情報の収集や整理を他分野との関連を理解しながら学ぶことができた。</li> <li>◇教科のまとめとなる公民分野では外部人材・教材を活用し、社会とのつながりを意識づけ、関心を高めることができた。</li> <li>◆ゴールの確認、入試直前に知識を深めることに固執する生徒がみられた。広い視野にたって学べるよう教科の意味を理解させたい。</li> <li>◆既得学習の確実な習得により、課題に対して正対できる力を養いたい。</li> </ul>

めざす生徒像	<p>基礎的・基本的な知識・技能を身につけ、問題解決の過程でその知識・技能を活用しながら、数学的思考を深め、自分の考えを表現できる生徒。</p>
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇単元テストや既習事項の学び直し、反復学習を実施したことで、基礎的・基本的な知識や技能を身につけた生徒が増えた。</li> <li>◇ICT機器を活用した授業の展開で、どの単元においても視覚的にとらえやすくし、課題に対し意欲的に取り組んでいた。</li> <li>◇定期的に課題を設定し、評価することにより、生徒の学習意欲が高まり、答案の記述や直し方の質が高まり、提出率もよかった。</li> <li>◆課題に対し、基本的な知識・技能を用いて解き、それらの解法や値の意味することなどを、図や式、グラフを用いて数学的な言葉を用いて説明する力を身につけさせることが課題である。</li> <li>◆図形に関する単元で、直線や平面の位置関係、図形の具体的なイメージを十分に持つことができていない。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇単元の確認テストや既習事項の学び直し・反復学習を実施したことで、基礎的・基本的な知識や技能を身に付けた生徒が増えた。</li> <li>◇ICT機器を活用した視聴覚教材や身近にある数学を教材として取り組ませることで、数学的事象やその場면을効果的にイメージすることで、生徒の学習意欲が高まり、理解度の深化が見られた。</li> <li>◇生徒が苦手意識を持ちやすい関数、証明分野において、習熟度別少人数指導で、生徒ができるという実感をもたせることができた。定期テストでも無解答が少なく、あきらめずに考えようとする姿勢がみられた。</li> <li>◆式や図形の証明において、論理的に説明する力が不足し、等式が何を根拠に成り立っているのか順序立てて説明したり、自分の考えを説明するために必要な流れを把握する演習を重ねる必要がある。</li> <li>◆提出物に関して、提出率は向上したが、わからない問題に対する解説の書き込み、間違えた問題に対する見直しが十分でない。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇年間を通して、反復学習や復習を継続的に行い、既習事項と関連させながら、問題解決に取り組んでいた。</li> <li>◇ICT機器を活用したことにより、式や図だけではなく、関数や図形に関して具体的なイメージをもたせることができた。</li> <li>◇問題解決の場面で具体的なイメージをもてたことで題意を把握し、能動的に課題に取り組む生徒が増えた。</li> <li>◇課題についての年間計画を年度当初に提示したことで、生徒自身が見通しをもち、計画的に進めることができる生徒が増えた。</li> <li>◆与えられた課題に対し、イメージをもつことはできるようになったが、自分で式や図を必要な形にして、解法をグラフや図・言葉を用いて自分の考えを他者に伝える力が十分でない。</li> <li>◆数学的活動の中で、意見を共有し、他者の意見やアドバイスをもとに自らの考えを言語化できることが必要である。</li> </ul>

めざす生徒像	<p>「課題」に対して豊かな発想を持ち積極的に取り組み、論理的に予想を立てて科学的な思考のもとに検証して理解を深め、応用ができる生徒。</p>
成果と課題	<p><b>【1年】</b>  ◇最新の科学的なニュースや模型、画像などの教材を提示し、自然現象への関心を高めることができた。</p> <p>◇小テストや観察記録のワークシートを活用することで、積極的に取り組む生徒が増えた。</p> <p>◆グループの中で結果を報告し、まとめた考えを自分の意見として発表することが苦手な生徒への支援が必要である。</p> <p><b>【2年】</b>  ◇班での活発な学びあいがあった。</p> <p>◇単元毎のプリント学習や実験観察のレポートに真剣に取り組めた。</p> <p>◆集中力が無くなる生徒が若干いるので、持続させる方法が必要。</p> <p><b>【3年】</b>  ◇少人数の特徴を活かし、個別の対応をすることや生徒同士で教えあう活動ができた。</p> <p>◇2学期までに3年の内容は終わり、3学期は3年間の総復習をすることができた。</p> <p>◆入試科目で理科が必要ない生徒のやる気が落ちてきた。</p>

めざす生徒像	音楽に興味関心と自ら学ぼうとする姿勢をもち、一つのものをみんなで完成させる達成感と、音楽を表現する喜びを感じることができる生徒
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <p>◇繰り返し練習を重ね、リコーダー奏法を身につけ、読譜力もついた。</p> <p>◇のびのびとした歌声で歌い、パートリーダー中心に自分たちで取り組もうとする姿勢が育った。</p> <p>◇個人指導をわずかな時間でも行ったのは良かった。</p> <p>◆自ら音楽表現を工夫し、表現する技能は全体として課題がある。</p> <p>◆支援が必要な生徒の能力差が大きく、更なる個人的アドバイスや声かけをしていく必要を感じるが、時間的に難しい時がある。</p> <p><b>【2年】</b></p> <p>◇リコーダーの基礎を身につけ、アンサンブルを行う楽しさを感じながら、より難しい曲にも挑戦したいという前向きな姿勢が育った。</p> <p>◇パートの音をとるときなど、パートリーダーを中心に自ら学ぼうとする姿勢が育ってきた。</p> <p>◇音楽表現の工夫や技能が着実に身につけてきている。</p> <p>◇鑑賞への取り組みや感じ方も感想などから成長を感じることができた。</p> <p>◆全体の雰囲気や言動を壊さない授業規律を今後も確立していく。</p> <p>◆生徒同士で自ら取り組もうとする姿勢を大切に、アドバイスをしながら課題を見つけさせる事を心掛ける。</p> <p><b>【3年】</b></p> <p>◇リコーダーの基礎基本を身につけ、自ら繰り返し練習する姿勢を育てることができた。</p> <p>◇パートリーダー、指揮者、伴奏者を中心に自ら曲を仕上げていこうとする姿勢が育ち、最高学年として、合唱のハーモニーや豊かな音楽表現がより完成度の高いものを目指し、前向きな取り組みができた。</p> <p>◆苦手意識を持った生徒を少しでも自信を持たせ、練習することで必ずできるようになっていくと感ずるような助言アドバイスを個々にしていく必要がある。</p>

めざす生徒像	<p>基礎的・基本的な知識と技術を身につけ、多種多様な表現の美しさを理解して発想を豊かにし、自分の考えや思いを工夫改善しながら表現することができる生徒。</p>
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇基礎的・基本的な知識を定着させるために工夫した題材により、制作を通して基礎的・基本的な知識は定着してきた。</li> <li>◇制作の目標やポイントを常に提示することによって、主体的によく取り組んでいる。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識を理解しても、実際の作業が伴わず、自分らしい表現力が不足している生徒への個別指導の工夫と活動時間の配分を配慮することが必要である。</li> <li>◆作品鑑賞や意見交換の機会を広げ、観賞力の向上につなげる工夫が必要である。</li> <li>◆制作進度に差が生じ、作品を完成できない生徒への個別対応を改善する必要がある。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習への関心・意欲が高い生徒が多く、制作の目標やポイントを理解して主体的に取り組む生徒が増えた。</li> <li>◇学習した基礎的・基本的な技術を発想や構想に生かして制作する生徒が増えた。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識を理解しても、学習したことを自分らしい発想や表現に生かせない生徒への個別指導の工夫が必要である。</li> <li>◆作品鑑賞や意見交換の機会を広げ、観賞力の向上につなげる工夫が必要である。</li> <li>◆制作進度に差が生じ、作品を完成できない生徒への個別対応を改善する必要がある。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇学習への関心・意欲が高い生徒が多く、制作の目標やポイントを理解して主体的に取り組む生徒が多い。</li> <li>◇学習した基礎的・基本的な技術を発想や構想に生かして制作する生徒が多い。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識を理解しても、学習したことを自分らしい発想や表現に生かせない生徒への個別指導の工夫が必要である。</li> <li>◆作品鑑賞や意見交換の機会を広げ、観賞力の向上につなげる工夫が必要である。</li> <li>◆制作進度に差が生じ、作品を完成できない生徒への個別対応を改善する必要がある。</li> </ul>

めざす生徒像	運動の楽しさや喜びを味わいながら、知識・技能・体力を高め、向上心や責任感、協調性や公正さをもつ、心身ともに調和のとれた生徒
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇運動量を確保し主体的な活動を主とすることで、的確なねらいの設定を行うことができた。また、その課題の解決を目指した話し合いや教え合いを通して言語活動の活性化を図ることができた。</li> <li>◇学習カードを通し、個々で気づいた点を確認させ、学習の振り返りと基礎基本の定着が図れた。</li> <li>◆学習カードの活用を通じた振り返りが一部分の生徒にしか定着しなかったため、活用方法や内容の見直しをしていく。</li> <li>◆次年度はI C T機器を積極的に活用し、生徒の関心を深める共に、より効果的な活用方法を工夫していく。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇グループ活動を通して、主体的な活動をスムーズに展開できるようになり生徒同士の高め合いにもつながった。</li> <li>◇学習カードを使い、振り返りを行うことで課題意識を定着させることができた。</li> <li>◇オリンピック・パラリンピック学習の時間を設定し、単元毎に説明を加えたことで、関連づけた授業展開ができた。</li> <li>◆個別支援が必要な生徒へは、巡回指導時の声かけや段階に応じた課題、グループングの工夫など丁寧な配慮を行う必要がある。</li> <li>◆保健分野では授業プリントを活用し、より効果的に学習をすすめることができたが、I C T機器を併用して更に学習効果を上げていきたい。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇様々なスポーツを経験させスポーツへの興味や豊かなスポーツライフへの基礎をつくる一方、オリンピック・パラリンピックへの興味をもたせることができた。</li> <li>◇グループ活動を通し、お互いを高めあいながら練習方法を工夫し課題解決へ向けた取り組みができた。</li> <li>◇各種目でグループリーダーを中心に、生徒主体で活動させることができた。</li> <li>◆保健分野では授業プリントを活用し、より効果的に学習をすすめることができたが、I C T機器を併用して更に学習効果を上げていきたい。</li> <li>◆本時のねらいに対し、生徒が明確な課題設定ができるような指導を工夫する必要がある。</li> </ul>

めざす生徒像	ものづくりの基礎的な知識や技術を習得し、生活に活用できる生徒。 製作を通し、やり遂げる力や責任感、協調性を身につけた生徒。
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇授業の流れを示すことで、学習内容を理解することができた。</li> <li>◇ICT機器の活用と作品見本の提示で、作業内容や基礎的な技能の向上と、ものづくりへの関心が向上した。</li> <li>◇グループ学習を取り入れ、自分の考えと仲間の意見を比較することにより、考える力や協力して課題解決方法を迫及する場面が増え、授業に対する意欲や主体性が高まった。</li> <li>◆技能に差があり進行に大きな差が生じたので、補習の実施方法や取り組ませ方に工夫が必要である。</li> <li>◆苦手意識の高い生徒への指導の工夫が必要である。</li> <li>◆工具類を大切に扱う姿勢を持たせるために、助言やアドバイスをしていく。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ICT機器の活用と作品見本の提示、作業内容や基礎的な技能や知識に対しての意欲が向上した。</li> <li>◇課題が明確な作業に興味関心を持ち、意欲的に取り組むことができた。</li> <li>◇製作活動では、意欲的に活動し、作品を完成させることができた。</li> <li>◆必ず上達すると自信を持たせるような助言アドバイスをしていく。</li> <li>◆基礎的・基本的な知識や技能の定着に個人差がみられるため、個々の生徒への学習支援を充実させる必要がある。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇ICT機器の活用と作品見本を提示することで、作業内容や基礎的な技能や基礎的な知識を向上させた。</li> <li>◇少ない授業の中で、各個人の進度に合わせた技術指導を行い、作品製作に取り組むことができた。</li> <li>◇保育実習をはじめとする体験的学習により、生徒一人一人が目的意識を持ち、意欲的に学習に取り組むことができた。</li> <li>◇課題が明確なとき、意欲的に作業に取り組むことができた。</li> <li>◆作品の部品管理が苦手な生徒がいて、作業効率を低下させた、来年度は、管理方法や個人の実情に合わせた個別指導が必要である。</li> <li>◆少ない授業時間のなかで、生徒が身に付けた技能を生かせるような題材の工夫と、十分に思考し活動できるような授業構成、技能の差に応じた支援を工夫していく必要がある。</li> </ul>

めざす生徒像	言語や文化、人々の生活に関心を持ち、共感する感性と外国語を使ってコミュニケーションを図ろうとする生徒。
成果と課題	<p><b>【1年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇正確性だけでなく流暢性を意識することによって、英語を使って積極的にコミュニケーションをとろうとする姿勢を養うことができた。</li> <li>◇まず全員が教科書を正確に読めるように、音読中心の授業を展開し、音への関心・意欲は高まった。</li> <li>◇個人のスピーチ、プレゼンテーション、グループでのスピーチを通し、自分のことや周囲のことを簡単な英語を使って伝える機会を設け、発表のスキルが身についた。</li> <li>◆読めるようになる→書けるようになるという学習順序を推奨しているが、文字に対して苦手意識を持っている生徒が多い。</li> </ul> <p><b>【2年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇スピーチ、スキット、行事後の作文など表現活動を多く取り入れたことで、誤りを気にせず積極的に発表したり、友達の発表に耳を傾けたりすることに意欲的になった。</li> <li>◇校外学習時に行ったピースメッセージ活動や TGG での英語体験により、英語によるコミュニケーションだけでなく、書くこと、読むことへの意欲も高まった。</li> <li>◆基礎的な文法項目と単語などの定着と同時に、読み、書く量を増やし、外国語にふれる機会を増やすこと、また家庭学習により多くの生徒が取り組むことができるよう、支援することが課題である。</li> <li>◆少人数授業の運営、また少人数授業における評価の工夫。</li> </ul> <p><b>【3年】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>◇3クラス共通で2本の映画を視聴し、字幕の学習から日英の語感の相違を興味深く学ぶことができた。また、1、2年の文法事項、動詞の活用や熟語など、基礎的な力を確保するため、小テストを数回行った。</li> <li>◇教科書の題材を深めるため、発展的な題材のスピーチやドラマを取り入れた授業を一斉クラスで行った。「演じる、感じる、考える」授業の集大成として、生徒はよく取り組んだ。</li> <li>◇少人数授業担当がそれぞれの方法で、個々の生徒の学習の様子をとらえ、動機付けを行い、担当者が教材や指導法を共有し、受験期の生徒を支えた。どの先生にも相談できる体制ができつつある。</li> <li>◆少人数授業の運営、また少人数授業における評価の工夫。</li> </ul>